



第74回和歌山県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会

○10月7日（土）第74回和歌山県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会が耐久高校を会場に開かれました。本校からは昼間部1年の田元美羽さんが出場しました。田元さんの『特別』との向き合い方』と題した発表が、優秀賞を受賞しました。『特別』ではない自分と向き合い、様々なことに挑戦し多くの経験を積み重ねていく』思いが深く伝わってくる発表でした。田元さんをはじめ各学校の参加生徒たちは、7分間という限られた時間の中で素晴らしい発表を展開していました。

前期終業式・後期始業式

○9月29日（金）昼間・夜間ともに前期の終業式を行いました。坂本校長から「高校生活は長いようで短い。卒業までの時間で何ができるのか考えてください。小さな努力を続けることが『頑張れる自分』という自信になり、のちに自分を助ける大きな力になります。」と前期の締めくくりとして話しました。



○10月2日（月）昼間部・夜間部ともに後期の始業式を行いました。坂本校長は、哲学者である苦野一徳さんの『二者択一のワナ』の言葉から、「自分の考えに固執して、異なるすべてを否定しがちですが、どちらにも納得のいく、より良い方法を考えることは、社会でバランス良く生きていくために必要な知恵であり、見えてくるものも広がるかもしれません。」と視野を広げて考えることの大切さについて話しました。

学校説明会

○10月14日（土）学校説明会を開催しました。中学生、保護者、引率の先生を含め多数の参加者がありました。昨年度に引き続き、参加生徒の皆さんに実際の授業を体験する時間を設定しました。その他、保護者の皆さんからの質問に対して、各担当の先生からお答えしたり、中学生にとって先輩にあたる各部課程の在校生たちに本校の魅力を語ってもらったり、南紀高校の姿をよく理解してもらえる内容となるよう、説明会を開催しています。



南紀祭



○10月27日（金）28日（土）、南紀祭を開催しました。4年ぶりに二日間の開催となりました。



○初日の催しとして、舞台発表（夜間部C組・愛須有月さんの独唱、昼間部5組・加藤玲喜くんのドラム演奏、昼間部6組の趣向を凝らしたクラス取組の発表、生徒会主催のビンゴゲーム）、芸術鑑賞（ジャグラー「シンクロシティ」によるパフォーマンス）を体育館で行いました。



○最終日の催しは、昼間部、夜間部、育友会、きのくに学びの教室田辺校による「食物バザー」、茶道部による「お茶席」があり、大変賑わいを見せ、大いに盛り上がっていました。



○2日間をとおして、定時制（昼間部・夜間部）・通信制両課程での実技系授業やクラブ活動で創作された作品、昼間部3組のフォトコンテスト作品、通信制生徒が作り上げたモザイクアートなどが体育館で展示されました。



○今年度のテーマは「南紀祭 心をついに～帰ってきた青春～」でしたが、舞台発表、食物バザーも盛り上がり、作品展示も力のこもった見応えのあるものばかりで、「心が一つ」になった南紀祭でした。

11月の主な行事など

- ・ 1日（水）～30日（木）学校開放月間
- ・ 2日（火）津波避難訓練（昼間）
防災学習（夜間）
- ・ 7日（火）和定連研修会
- ・ 11日（土）～12日（日）
和定通研究生徒作品展示会（田辺市文化交流センター・たなべる）

- ・ 12日（日）全商電卓実務検定
- ・ 14日（火）思春期講座（夜間）
- ・ 18日（土）熊野古道探究
- ・ 21日（火）人権学習（昼間）
- ・ 22日（水）第3回定期考査時間割発表
- ・ 26日（日）全商ビジネス文書実務検定